

残暑お見舞い 申し上げます

町 民の皆様におかれましては、お健やかにお過ごしのこととお喜び申し上げます。

はじめに、七月二十八日に発生した熊本県を中心とする大規模地震により、お亡くなりになられた方々に謹んで哀悼の意を表しますとともに、ご遺族の皆様、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。避難生活を余儀なくされている方々をはじめ、不安な日々を過ごされている皆様の一日も早い生活再建と、被災地の復旧・復興が進み、平穏な日常に戻りますことを心よりお祈り申し上げます。また、救助活動や復旧・復興にご尽力されているすべての皆様に深く敬意を表します。

さて、本年も早いもので八月を迎えました。国内外では国際情勢の変化や物価高騰などにより、私たちの暮らしを取り巻く環境は依然として厳しい状況が続いており

ます。また、今夏も記録的な暑さが続き、健康管理にも一層の注意が必要となっています。

このような時代だからこそ、町政の役割は町民の皆様の暮らしを守り、地域を支え、未来へ希望をつないでいくことにあると考えております。本町では、本年度も子育て・教育環境の充実、農畜産業の振興、循環型社会の推進、地域経済の活性化、安心して暮らせる地域づくりなど、将来を見据えた施策を着実に進めてまいります。

物価高騰への対策としては、地域経済の活性化と生活支援を目的に、昨年度に引き続き「オオサキポイント事業」を実施しております。今年度は町民お一人あたり二万ポイントを付与しておりますので、ぜひ積極的にご利用いただき、日々の暮らしにお役立ていただければ幸いです。

子育て・教育分野では、保育料

や学校給食費の完全無償化に加え、本年度から中学生の制服購入費も無償化いたしました。また、近年の猛暑から子どもたちを守るため、町内すべての小・中学校の屋内運動場への空調設備整備を進めており、安心して学び、活動できる教育環境づくりに取り組んでおります。

地域医療の充実につきましては、医療確保プロジェクトの一端として、本年五月から新たな医師を迎えることができ、今後さらに既存の医療機関との連携を深め、安心して医療を受けられる環境を整えてまいります。

また、新たに居住住宅等リフォーム補助金を創設し、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるまちづくりを推進してまいります。

さらに、本年度は「対話でつくるみんなの未来」という基本姿勢のもと、町民の皆様との対話を政

策につなげる研究所を発足いたします。地域のさまざまな声に耳を傾け、皆様とともに課題を解決し、より良いまちづくりを進めてまいります。

本町は本年、町制施行九十周年という大きな節目を迎えました。今日の大崎町がありますのは、ふるさとを愛し、その発展のために力を尽くしてこられた先人の皆様のためめ努力の積み重ねによるものであり、改めて深く感謝申し上げます。その歩みを受け継ぎ、未来を担う子どもたちへ誇れる大崎町を引き継ぐため、これからも全力で町政運営に取り組んでまいります。

結びに、残暑なお厳しき折ではございますが、町民の皆様におかれましては、熱中症などに十分ご留意いただき、健やかにお過ごしください。心よりお祈り申し上げます。

令和八年晩夏

大崎町長
他職員一同

